

# 統合中学校整備計画基本方針

平成29年4月

川崎町教育委員会

# 統合中学校整備計画基本方針

平成29年4月

## 第1章 中学校統合にあたり

### I 中学校の現状と推移

川崎町には平成27年度現在、川崎中学校・鷹峰中学校・池尻中学校の3中学校が設置されており、川崎中学校は生徒数204名・普通学級数6学級、鷹峰中学校は生徒数160名・普通学級数6学級、池尻中学校は生徒数116名・普通学級数3学級であった。

中学校の教育活動の現状では、学年単学級による人間関係の固定化や教科担当教員が複数配置されないため習熟度別指導などの多様な指導ができない中学校が発生している現実があった。

今後は過疎化や少子化等による生徒数の減少が加速度的にすすみ、近い将来多くの学年が単学級となることが予想される。

この現状を踏まえ将来の中学校編成のあり方について協議検討することが急務であると考えられた。

### II これからの中学校編成のあり方について

加速度的にすすむ中学校の小規模化が予想されることを踏まえ、これからの中学校編成のあり方について教育問題検討委員会の答申を受け、教育委員会と総合教育会議で検討を重ね、川崎町の子どもたちの将来を考えると、適正規模の中学校で切磋琢磨し学ぶことが最も大切であるという結論に達し、現在の3中学校を統合した新中学校を平成33年4月に開校することを目標に、統合中学校整備計画基本方針に沿った統合中学校新設を実行することに至った。

## 第2章 整備計画基本方針について

川崎中学校、鷹峰中学校、池尻中学校を統合した新中学校を新設し、平成33年4月の統合中学校開校に向け、以下の整備計画基本方針に沿った整備を行う。

### I 生徒の主体的な活動を支援する学校づくり

#### 1 多様な学習形態、弾力的な集団による活動を可能とする施設

- (1) 多様な学習内容・学習形態による活動を可能とするため、一斉指導による学習以外に、ティームティーチングによる学習、個別学習、少人数指導による学習、総合的学習、生徒の特性等に応じて行われる課題学習、補充学習、発展学習等の活動に対応できる合理的な多目的空間の施設設備を整備する。

#### 2 情報教育環境の充実した施設

- (1) 高度情報通信ネットワーク社会に対応した学校教育環境をつくるため、校内の情報ネットワーク整備や情報機器導入等、高機能かつ多機能な施設設備を整備する。

#### 3 特別支援教育の推進のための施設

- (1) 教育上特別な支援を必要とする生徒に対して、学習上又は学校生活上の困難を克服するための教育を行うため、指導・支援の実施を考慮した施設設備を整備する。

### II 安全でゆとりと潤いのある学校づくり

#### 1 健康かつ安全で豊かな施設

- (1) 生徒の健康に配慮し、校内の快適性を確保するため、採光、通風、換気、空調設備等の充実に十分配慮した施設設備を整備する。
- (2) 生徒の心と体の健康を支えるため、相談室やカウンセリング室、保健室・トイレ等が充実した施設設備を整備する。

- (3) 敷地内や建物内の見通しが確保され、死角となる場所をなくし、また外部からの来客確認や不審者侵入の抑制と緊急事態発生時の通報システム等の導入を行う等、完全な施設設備を整備する。
- (4) 地震発生時において、生徒等の人命を守るとともに、被災後の教育活動の早期再開を可能とするため、また地域住民の応急的な避難場所となるため、施設や設備の損傷を最小限にとどめることなど、十分な耐震性を確保した施設設備を整備する。

## 2 施設のバリアフリー化

- (1) 障がいのある生徒等が安全かつ円滑に学校生活を送ることができるように、スロープ、手すり、トイレ、エレベーター、出入口等の計画に配慮し、障がいの状態や特性、ニーズに対応した施設設備を整備する。

## 3 環境に配慮した施設

- (1) 省エネルギーや環境に配慮した施設設備を整備する。

# III 地域と連携した学校づくり

## 1 学校・家庭・地域との連携

- (1) 学校・家庭・地域が連携・協働した学校づくりのため、コミュニティ・スクール活動を基盤とした学校運営に対応した施設設備を整備する。
- (2) 地域スポーツ活動、地域コミュニティ活動等、地域と連携した活動を推進するため、学校開放等をはじめとする地域活動の拠点となる施設設備を整備する。
- (3) 現3中学校のこれまでの歴史を保存するための空間を整備する。

# IV 整備計画のすすめ方

## 1 基本設計・実施設計について

- (1) 生徒数・学級数の将来的動向を十分調査把握し、統合中学校整備構想を決定する。
- (2) 学校関係者、保護者、地域住民等のはばひろい意見を聞きながら、また他自治体の中学校統合事例等を参考に、統合中学校の目的や願い特色等を反映させた基本設計、実施設計を作成していく。